

## 国交省、モンゴルと航空当局間協議、成田発着枠を増便、コードシェア枠組みも拡大

国交省は 22 日、日本とモンゴルの航空当局間協議の結果を発表した。継続系儀となっていた成田発着枠では、現行の週 5 便から週 7 便に増便される。

また、日本とモンゴル双方の航空企業の運航柔軟性を拡大する観点から、コードシェア枠組みも拡大することで合意した。

(国交省プレスリリース)11/22

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03\\_hh\\_000221.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku03_hh_000221.html)

## 日航、10 月、旅客輸送実績、国際線旅客数、前年同月比 9.8%増、L/F78.6%

日航は 21 日、10 月のグループ旅客輸送実績を発表した。これによると、国際線旅客数は 66 万 2,860 人となり前年同月比 9.8%増加した。ASKは 5.9%増、RPK7.9%増だった。利用率は 78.6%(前年同月 77.1%)だった。

路線別では、東南アジア線が好調で旅客数は 10.6%増、利用率 78.2%だった。中国線の合計旅客数は前年比 42.9%増加、利用率は 58.3%(同 51.5%)に向上した。また日本発中国線も、回復の兆しが見られるとしている。韓国線の旅客数は 9.7%減、利用率 69.5%だった。

(日刊航空)11/22

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>

(JAL プレスリリース)11/21

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201311/002725.html>

\*出典：JAL プレスリリース

### (2)国際線旅客方面別輸送実績

		2013年10月						前年同月	
		旅客数	前年度比(%)	RPK(千人 <sup>※</sup> )	前年度比(%)	ASK(千座席 <sup>※</sup> )	前年度比(%)	利用率(%)	利用率(%)
JALグループ	太平洋線	160,531	106.4	1,227,417	105.5	1,508,580	109.1	81.4	84.1
	欧州線	61,741	105.6	570,254	103.5	691,378	101.2	82.5	80.7
	東南アジア線	252,276	110.6	914,744	111.8	1,169,490	103.8	78.2	72.6
	オセアニア線	12,965	102.4	101,352	103.3	121,730	99.5	83.3	80.2
	グアム線	12,602	94.1	31,817	91.8	37,576	80.5	84.7	74.3
	韓国線	64,995	90.3	74,064	92.5	106,572	91.1	69.5	68.4
	中国線	97,587	142.9	180,998	141.5	310,333	125.0	58.3	51.5
	合計	662,860	109.8	3,100,857	107.9	3,945,888	105.9	78.6	77.1

## ANAHD、panda Flight Academy、副操縦士昇格訓練開始

ANA ホールディングス傘下の panda Flight Academy は 22 日、2013 年 10 月 25 日国土交通大臣の指定航空従事者養成施設として、A320 型式機の副操縦士昇格の課程「事業用操縦士 限定変更 エアバス式 A320 型」の承認を受け、11 月 24 日からピーチから受託した訓練を開始したと発表した。

事業用操縦士限定変更 A320 は、初めて操縦に 2 人を要する飛行機の限定を取得する課程で、大学の操縦科を卒業するなど基礎的な操縦免許のみを有する者を対象に、航空会社の副操縦士となるために必要な旅客機の免許を初めて取得させる訓練であり、従来は航空会社が自社で実施していた。

panda・Flight・Academy が承認を受けて、この訓練を航空会社に提供し、課程修了で航空局の航空従事者試験官による実地試験が免除される。

(Flyteam)11/22

<http://flyteam.jp/news/article/28447>

(ANA ホールディングス プレスリリース)11/22

<http://www.anahd.co.jp/pr/201311/20131122.html>

## スカイマーク、米子空港、防衛省の滑走路使用許可待ち

(日本海新聞によると)

12 月 20 日に米子鬼太郎空港に就航予定のスカイマーク便について、国交省大阪航空局は 21 日までに米子空港の事業計画変更を認可した。成田、神戸、茨城各便の新規就航が認められた。今後、防衛省に提出している滑走路使用許可が下りれば、就航手続きが正式に整う。事業計画変更は、新規就航やタイムスケジュール変更時に運航会社が国に対し行う手続き。10 月 18 日にスカイマークが国交省に申請、今月 19 日に同社に認可の連絡があった。米子空港では同社の事務所やカウンターを設置工事が進められており、既に各便の予約受け付けも始まっている。

(日本海新聞)11/22

<http://www.nnn.co.jp/news/131122/20131122003.html>

## スカイマーク、22日から東証一部へ市場変更

スカイマークは22日、東京証券取引所マザーズ市場から市場第一部へ市場変更されたと発表した。

同社は、平成8年に創業し、平成10年に羽田—福岡線での運航を開始した。その後、平成12年の東京証券取引所マザーズ市場への株式上場を経て、証券取引所市場第一部への市場変更を行った。

(スカイマーク プレスリリース)11/22

[http://www.skymark.jp/ja/company/press/131122\\_press.pdf](http://www.skymark.jp/ja/company/press/131122_press.pdf)

## セブ・パシフィック(LCC)、成田・名古屋就航を発表、来年3月30日

フィリピンの格安航空会社(LCC)セブ・パシフィックは22日、マニラから成田、名古屋への直行便をそれぞれ来年3月30日に就航すると発表した。マニラ—関空便に続き、日本への直行便は3路線となる。価格はフルサービスを提供する他の航空会社より最大で6割安くする。

使用機材はエアバス A320 型、成田線は1日1便で週7便、名古屋線は火・木・土・日の週4便で運航する。

また、関空線は12月19日から、現在の週3便から増便し、週7便のデイリー運航とすることを発表している。

経済成長でビジネス客や観光客が増えていることに対応する。日比両政府が9月に航空自由化協定を結んだことを受け、セブ社は日本行き路線の拡大を進めている。

(日経)11/22

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM22040\\_S3A121C1FF1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM22040_S3A121C1FF1000/)

(セブ・パシフィック プレスリリース)11/22

<https://www.cebupacificair.com/Pages/press-releases.aspx?pid=902>

(セントレアプレスリリース)11/22

[http://www.centrair.jp/whatsnew/1191025\\_1429.html](http://www.centrair.jp/whatsnew/1191025_1429.html)

## 米 FCC、航空機運航中、携帯電話の通話・メールの使用検討

米連邦通信委員会(Federal Communications Commission、FCC)は21日、飛行中の航空機内での携帯電話による通話やその他のブロードバンド通信サービスの解禁を、来月の委員会で検討すると発表した。

FCCの新提案は、離着陸時を除く運航中に、機内での通話やテキストメッセージ、無線データ通信を認めるかどうかの判断を航空会社に委ねるというもの。12月12日に開催される委員会で、FCCの5人の委員がこの提案の是非を検討する。解禁の方針が固まれば、提案内容を一般に公開し、意見を募る。このプロセスは最大1年かかり、その後にFCCが正式な最終決定を下す。

米連邦航空局(FAA)は10月航空機の離着陸時にもタブレット型端末やスマートフォン、電子書籍端末などの電子機器の使用を認める方針を発表している。しかしその際も、電子機器の地上ネットワークとの接続は引き続き禁止され、機内での携帯電話の使用は認められなかった。

(ロイター)11/22

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE9AL02M20131122>

(AFP)11/22

[http://www.afpbb.com/articles/-/3003757?ctm\\_campaign=txt\\_topics](http://www.afpbb.com/articles/-/3003757?ctm_campaign=txt_topics)

(日経)11/22

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM22010\\_S3A121C1EB1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM22010_S3A121C1EB1000/)

## エミレーツ航空、パイロット訓練学校「エミレーツ・フライトアカデミー」設立

エミレーツ航空はパイロット訓練学校「エミレーツ・フライトアカデミー」を設立すると発表した。総工費は5億AEDディルハム、約138億円。開校後は、まずエミレーツの“国家パイロット候補生プログラム”の専用訓練所として運営し、その後、他の航空会社から飛行未経験のパイロットを受け入れて、徐々に訓練生数を増やしていく予定。

施設は教室、学生寮、フライトシミュレーター、飛行訓練設備を備え、パイロット候補生の訓練をアカデミー内で行うことができる。受け入れる訓練生は同時期に400名で、職員は150名。年間およそ160名が卒業を見込んでいる。

(エミレーツ航空 プレスリリース)11/22

(Flyteam)11/22

<http://flyteam.jp/news/article/29155>